

令和8年 第2回芦屋町議会定例会 一般質問通告書

氏名	件名	要旨	備考
田中 太 [一問一答方式]	1. 中心市街地の活性化について	<p>町はこれまで、中心市街地のにぎわい創出に向けて様々な取り組みを進めているが、来訪者の受け皿となる機能が不足していることが回遊性向上の妨げになっていると考える。よって、中心市街地の活性化についてお尋ねする。</p> <p>(1) 中心市街地の現状と課題について</p> <p>(2) 複合的な受け皿機能の整備について</p>	
	2. 学校教育の支援体制について	<p>全国の小中学校では、不登校児童生徒が未だ増加傾向にあることが明らかになっている。</p> <p>芦屋町での現状と今後の継続的な支援体制の確保についてお尋ねする。</p> <p>(1) 不登校の現状について</p> <p>(2) 町が目指す支援体制と方向性について</p>	
松岡 泉 [一問一答方式]	1. 通級指導教室の支援について	<p>近年、発達障害や学習障害、情緒面に課題を抱える児童生徒が増えており、これらに対する支援の重要性が全国的に高まっている。文部科学省においても、インクルーシブ教育の推進が掲げられ、「可能な限り共に学ぶ教育環境」の整備が求められている。その中で、通常学級に在籍しながら、個々の特性に応じた専門的支援を受けることができる「通級指導教室」の役割は極めて重要である。</p> <p>子どもたちが健やかに育っていくためには、これらへの支援・充実を図る必要がある。</p> <p>(1) 通級指導教室の現状について</p> <p>(2) 通級指導教室に関わる課題とその取組について</p> <p>(3) ふくおか就学サポートノートの活用について</p>	
	2. こどもの権利基本条例の制定について	<p>こどもど真ん中社会の実現に向けて、2022年に「こども家庭庁」が設置されるとともに、「こども基本法」が制定されている。しかし、こどもを取り巻く環境は厳しい状況が依然と続いている。国の施策の枠組みがあったとしても、現場において有効な施策がなければ環境の改善は図られない。</p> <p>町の「こどもの権利基本条例」の制定については前向きな答弁を今までに頂いているが、現状を踏まえ、早期の条例制定を実現すべきである。</p> <p>(1) こどもを取り巻く環境について</p> <p>(2) 町のこども施策の取組状況と課題について</p> <p>(3) こどもの権利基本条例の制定について</p>	

令和8年 第2回芦屋町議会定例会 一般質問通告書

氏名	件名	要旨	備考
川上 誠一 [一問一答方式]	1. PFAS汚染について	<p>令和6年12月、芦屋基地の専用水道から発がん性が指摘されるPFASが国の暫定目標値を超える濃度で検出された問題で、令和8年3月30日、福岡県は水質調査の結果を発表した。これまで6回の水質調査が実施されたが、多くの地点で暫定指針値を超過している。これは芦屋基地が発生源である蓋然性が極めて高いことを示している。</p> <p>そこで伺う。</p> <p>(1) 町は今後の対応をどう考えているのか。</p> <p>(2) 令和7年3月13日に芦屋町・芦屋町議会で芦屋基地にPFAS対策についての要望書を出しているが、回答はどうなっているのか。</p> <p>(3) 令和8年4月1日から、水道法でPFASの水道水質基準が設けられたが、町はこの基準をどう捉えているのか。</p>	
	2. 桜の木の高齢化について	<p>令和8年3月、東京都世田谷区の砧公園で桜の木が突然倒れ、来園者がけがをする事故が起きた。4月には福岡市の舞鶴公園でも高樹齢の桜が倒木し、福岡市は緊急点検を行った。芦屋町においても倒木リスクへの対応が求められるが、次の点を伺う。</p> <p>(1) 城山公園等の桜の樹齢はどのくらいか。</p> <p>(2) 町内には街路樹や公園、学校など多くの桜があるが管理・点検はどうしているのか。</p> <p>(3) 点検の結果、老朽木や病害虫被害のある樹木はあったのか。</p> <p>(4) 老朽化した桜の捕植計画はあるのか。</p>	
本田 浩 [一問一答方式]	1. 道路交通法一部改正について	<p>令和8年4月1日に道路交通法が一部改正され、町民生活に直結し大きな影響を及ぼす「軽車両に対する交通反則通告制度」が導入された。この改正は交通安全意識そのものを大きく変える内容であり、こどもから高齢者まで全世代に関わる問題であることから、町の交通安全対策についてお尋ねする。</p> <p>(1) 法改正の対応方針について</p> <p>(2) 交通安全の周知強化について</p> <p>(3) 高齢者の事故対策について</p> <p>(4) 学校・通学路安全について</p> <p>(5) 自転車安全利用推進について</p> <p>(6) 道路環境の安全整備について</p> <p>(7) 施策検証と体制整備について</p>	

令和8年 第2回芦屋町議会定例会 一般質問通告書

氏名	件名	要旨	備考
妹川 征男 [一問一答方式]	1. 副町長の任務と役割について	<p>副町長は、企画課長、福祉課長および監査事務室書記を経て、本年4月に新たに就任された。副町長は町長を補佐し、行政実務の統括責任者として町政を円滑かつ誠実に運営する重責を担っている。その職責を果たすためには、高い公務員倫理と住民や議会に対する絶対的な誠実さが求められるものと認識している。そこで、行政実務のトップとしての職責と事務執行上の課題認識について見解を伺う。</p> <p>(1) 副町長としての決意と所信について</p> <p>(2) 福祉課長時代に担当された「特別養護老人ホーム建設事業」を巡るこれまでの対応の経緯と、現在の課題認識について</p> <p>(3) 芦屋町職員倫理条例の目的について</p> <p>① 副町長が職員の倫理向上において果たすべき役割について</p> <p>② 同条例の基本理念の徹底に向け、副町長をはじめとする管理職の規範意識について</p>	
	2. 内部告発（公益通報）条例の制定について	<p>2022年（令和4年）6月の公益通報者保護法改正により、民間事業者と同様、地方公共団体に対しても内部通報体制の整備や従事者の指定など、適切な対応が強く求められている。本町における体制強化と透明性の確保に向けて伺う。</p> <p>(1) 法律改正以降、芦屋町における内部通報体制の整備・運用の現状について</p> <p>(2) 多くの自治体が「要綱」や「要領」ベースで窓口を運用する中、実効性と信頼性を高めるために、あえて法的な重みを持つ「条例」として制定することに対する町長の見解について</p>	
長島 毅 [一問一答方式]	1. 学校給食費負担軽減と今後の子育て支援について	<p>本町では学校給食費の負担軽減措置を継続して実施しており、子育て世帯への支援として大きな役割を果たしている。また、給食は単なる昼食ではなく、食育やシビックプライドの醸成を担う教育活動の一環であり、地域資源や地元食材を活用することで、地域理解や郷土への誇りを育む機会にもなる。さらに、給食は子育て環境の充実や本町の魅力発信にもつながる可能性を持つことから、今後の方向性について伺う。</p> <p>(1) 給食費負担軽減措置の今後の継続について</p> <p>(2) 食育及びシビックプライド醸成に向けた給食の活用について</p> <p>(3) 物価高騰下における給食の質の維持及び安全・安心な給食提供体制について</p> <p>(4) 地産地消の推進及び給食を通じた地域事業者との連携について</p> <p>(5) 給食センター運営審議委員会の活用について</p> <p>(6) 給食を活用した子育て支援及び町の魅力発信について</p> <p>(7) こどもたちにとってより豊かで魅力ある給食の実現に向けた今後の考えについて</p>	